

【 4 Nations Cup 2018 】

2018年12月28日～12月29日 開催地:ポーランド

試合結果報告 12月29日 (土)

JPN	VS	CZE
13	前半	13
14	後半	12
27	合計	25

個人得点

名前	得点	合計
1 佐々木 亮輔		0
7 宮崎 大輔		0
10 杉岡 尚樹	3	3
11 東長濱 秀希		0
13 笠原 謙哉		0
15 部井久 アダム 勇樹	6	6
16 甲斐 昭人		0
18 成田 幸平		0
19 徳田 新之介	11	11
20 渡部 仁		0
21 土井レミイ 杏利		0
24 信太 弘樹	4	4
25 元木 博紀	2	2
26 久保 侑生		0
27 玉川 裕康		0
29 岡元 竜生		0
31 吉野 樹		0
33 東江 雄斗		0
44 門山 哲也	1	1
		27

戦評

4nations cup2日目は3位入賞をかけて、チェコ代表との試合となった。  
 ポーランド戦とディフェンスシステムを変え、オフェンスも昨日の選手起用とは異なる形で臨んでのチャレンジであった。  
 序盤からテンポよく攻撃を展開しながら徳田、信太が得点を重ねるも、5:1ディフェンスが機能せず、チェコの攻撃のテンポを狂わせながらも左腕17番KASPAREKの豪快なロングシュートや55番MONCZKAの巧みなプレーで得点を許し、13対13の同点で前半を終了した。  
 後半スタートは、ハーフタイムで確認した5:1ディフェンスが徐々に機能し始め、チェコにテクニカルミスやシュートミスが目立ち始めてきた。その流れから部井久や杉岡が得点を重ね、日本の流れで試合が進んだ。しかし、チェコも大型ポスト66番ZEMANや左腕40番MUBENZENのシュートで応戦し、昨日と同じように最後までもつれる展開となった。終盤は7人攻撃を仕掛けながらリードを奪った日本が、最後まで冷静に試合を運び、途中出場のGK久保の要所を締めるキーピングでチェコにとどめを刺す結果となり、27対25の2点差で3位入賞となった。  
 世界選手権に向けて、勝ったことはもちろん重要であるが、ポーランド戦とは違うシステムや選手たちが活躍したことで、収穫の多い試合、大会となった。

報告記入者 : 舎利弗 学